

# 留学報告書

記入日:2016年2月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アデレード大学 現地言語: University of Adelaide
留学期間	2015年2月～2015年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年1月9日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 3 月上旬～6 月下旬 2 学期: 7 月下旬～11 月中旬
学生数	26,383 人
創立年	1874 年

留学費用項目	現地通貨 (AU\$)	円	備考
授業料	AU\$0	円	
宿舍費	週 AU\$155	円	Wi-Fi 料金別途 3GB で AU\$18 かかります。
食費	週 AU\$150	円	外食すると結構お金がかかります。
図書費		円	
学用品費	AU\$250	円	教科書やノートなど
教養娯楽費		円	
被服費	AU\$500	円	基本的に衣類は持参しましたが、必要に応じて買いました。(特に靴下やタオル)
医療費	AU\$0	円	
保険費	AU\$2000	18 万円	形態: 明治大学提供のものが1つ、オーストラリア政府提供のものが1つで、計2つです。
渡航旅費	AU\$2700	24 万円	渡航前に FIX OPEN チケットを買いましたが、帰国便の変更料がかなり高かったです。
雑費	AU\$9,000	円	
合計	AU\$28,000	円	

### 渡航関連

渡航経路: 羽田→シンガポール→ブリスベン→アデレード

渡航費用

チケットの種類	Fix-Open
往路	_____
復路	_____
合計	24 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

### 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学のホームページに記載されている寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3) 住居を探した方法:

去年留学されていた先輩から紹介していただきました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シティー内にある大学からバスで 15 分、自転車で 20 分ほどの少し外れた住宅街に位置していて、とても静かな場所です。寮の最寄りのバス停からは、シティー行きのバスが多い時で 15 分に一本のペースで来ます。ハウスマートと登校する時には話ができたりするので、苦ではありませんでした。でもシティーから寮までの最終バスが 23:30 頃だったので、そこが少し不便でした。寮の雰囲気は落ち着いていて、様々な国の方が住んでいるので、多くの文化に触れることができました。寮費は週 AU\$155 と大学経営の寮と比べると安いですが、Wi-Fi やセキュリティーなどの設備面では劣るところがあります。キッチンとシャワーは共同です。毎日お掃除の方がきれいにしてくれます。洗濯は一回 AU\$2 で、乾燥機が AU\$1 ですが、外に干すスペースがあり基本的に晴れているので、乾燥機は一度も使いませんでした。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

Ask Adelaide という相談窓口が大学にあり、留学生に限らず全学生が利用できます。大学に関することなら何でも対応してくれます。また、国際事務室の方々も丁寧に話を聞いてくださいます。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

現地でできた友達に教えてもらいました。アデレードは比較的安全で、自分も含め周りの友達でも危険な目に遭ったという話は聞きませんでしたが、やはり危険地区というのはあったので、その近くには一人では行かないように心がけていました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

パソコンは自宅用と持ち運び用の2台を日本から持っていきました。大学の自習室に自由に使えるパソコンがたくさんあるので、正直持ち運び用のパソコンは必要ありませんでした。しかし、日本製のは修理してくれない電気屋さんがほとんどなので、予備として持っていく分には問題ないと思います。Wi-Fi に関しては、大学寮に住んでいる人たちは不自由なく使えていましたが、私の寮では接続が悪いことが度々ありました。外に出掛ける時は、街の中心部でのみ繋がる無料 Wi-Fi や大学の無料 Wi-Fi を利用していたので、あまり困ることはありませんでした。携帯電話に関しては、日本でもともと使用していたものを使って日本と連絡を取り、現地購入したもので現地の人との連絡、というように2つを併用していました。旅行の際に街から出ると Wi-Fi がなくなることが多かったので、現地の携帯電話は非常に役立ちました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本でグローバルキャッシュカードを作り、日本の口座からオーストラリアドルを現地で引き出していました。送金するより手数料が安かったので、為替が有利な時にまとめて引き落とし現地の口座に入れておくと、無駄なく両替ができました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

飲み物が高いので、お茶パックが非常に役立ちました。

## 卒業後の進路について

1) 進路

- 就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

特になし。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

これから就職活動です。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

留学中にきちんと準備を始めれば、留学をしても就職活動に遅れをとることはないと思います。留学生対象のキャリアフォーラムがあったり、留学先からインターンの申請もできますし、就活する手段はあると思います。現地の企業にお話を聞きに行ったり、インターンに参加したりと、むしろ留学に行っているからこそできる就活の仕方もあると思うので、留学をマイナスにとらえる必要はないと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 25 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Australia in the Global Economy 1	国際経済におけるオーストラリア 1
科目設置学部・研究科	Faculty of Professions Economics
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 2 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Professor Ralph·Christopher Bayer
授業内容	オーストラリア経済史、オーストラリアのワイン産業、地球温暖化対策、為替や輸出産業について
試験・課題など	中間・期末試験あり 4 つ出されるエッセイ課題のうち、評価の高い 2 つが評価対象とされます。
感想を自由記入	オーストラリア経済に特化した授業だったので、オーストラリアの経済現状や将来展望など様々な視点から学べて楽しかったです。教授が授業後にわからなかったところを再度個人的に説明をしてくださったので助かりました。 経済の授業ですが、数学の要素は少なかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Comparative Politics of Rising Powers	比較政治学
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts Politics and International Studies
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 2 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Dr. Czeslaw Tubilewicz
授業内容	先進国を中心に扱った比較政治学
試験・課題など	期末試験あり グループプレゼンテーション、グループエッセイ、小クイズ
感想を自由記入	一国ずつ丁寧に学ぶことができ非常に楽しかったです。クラスメイトと共同で作成したグループエッセイやプレゼンテーションは非常に良い経験でした。また、教授の話がとても面白く、授業に退屈することがありませんでした。おすすめの授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Ecological Crisis and Economic Power of Asia	環境問題とアジアの経済力
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Asian Studies
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 1 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回(講義)と 120 分が 1 回(チュートリアル)
担当教授	Shoko Yoneyama
授業内容	過去にあったアジア地域での環境問題、アジア地域における経済発展が招く環境問題とそれに対する政策
試験・課題など	試験なし プレゼンテーション、期末エッセイ
感想を自由記入	教授が日本人で、日本をメインに取り扱う回があり、チュートリアルではクラス全体に日本について説明する機会が多かったです。さらにクラスメイトも日本に興味のある人が多く、日本に関する質問も多く受けました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Professional English 2	ビジネス英語 2
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, English
履修期間	Semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 1 のチュートリアルと週 1 のオンライン講義
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回(チュートリアル)と 60 分が 1 回(オンライン講義)
担当教授	Dr. Lucy Potter
授業内容	正しいビジネスレター、メール、文献レビュー、履歴書の書き方
試験・課題など	期末試験あり ビジネスレター、メール、文献レビュー、レジュメの提出
感想を自由記入	公式文書の書き方は国により異なるので、オーストラリアでの正しい書き方を学びました。将来に役立つスキルが身についたと感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Australia and the Asia-Pacific	オーストラリアとアジア太平洋地域
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Asian Studies
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 1 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回(講義)と 120 分が 1 回(チュートリアル)
担当教授	Dr. Gerry Groot
授業内容	東・東南アジアとオーストラリアの政治情勢
試験・課題など	試験なし プレゼンテーション、エッセイ、クラス内テスト
感想を自由記入	チュートリアルでは毎週リーディング課題が出され、それに基づいた質問を班に分かれて自由に議論をしました。クラスメイトの政治に関する知識が豊富で、初めの頃は話し合いについていくのがやっとでしたが、準備を重ねるにつれ理解できるようになり、自分の意見も言えるようになっていきました。また、プレゼンテーションをした題材についてエッセイを書くので、一年を通して一貫性があり、学習しやすかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
East Asian Economies 2	東アジア経済 2
科目設置学部・研究科	Faculty of Professions Economics
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 2 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Associate Professor Mandar Oak
授業内容	日本を含む東アジア・東南・中央アジアとオーストラリアとの間の経済関係(特に地域統合に焦点を当てて)
試験・課題など	中間・期末試験あり
感想を自由記入	チュートリアルでは、グループに分かれてプレゼンを作り、各週 1 グループずつ順番に発表をしていきます。内容は講義と連動しているので、復習にもなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Politics	国際政治
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts Politics and International Studies
履修期間	Semester2
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 2 の講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Dr. Benito Cao
授業内容	政治理論や国家衰退、グローバルガバナンスを中心テーマとした国際政治学
試験・課題など	試験なし 授業内小クイズ、期末エッセイ
感想を自由記入	国際政治の基礎を中心に扱った授業でした。期末に提出するエッセイは、脚注を 10 個以上つけるという条件があり、リーディングに苦労しました。また、講義には特別講師が来てくださる時もあり、様々なお話を聞くことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Justice, Liberty, Democracy: Debates & Directions	正義、自由、民主主義、ディベートと方向性
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts Politics and International Studies
履修期間	Semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	週 1 の講義と週 1 のオンライン講義と週 1 のチュートリアル
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Dr. Jonathon Louth
授業内容	自由民主主義国家における自由・権利のあり方について
試験・課題など	試験またはエッセイ(選択可能) リーディング課題、エッセイ
感想を自由記入	チュートリアルは、前の週の講義で取り扱った内容を基に、ディベート形式で行われます。他の授業に比べて、この授業の学生は特に発言量が多く、毎回活発な議論が繰り広げられていました。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2014年 1月～3月	語学試験の勉強
4月～7月	語学試験の勉強、 7月末 留学計画書提出、学内選考面接
8月～9月	学内選考の結果待ち
10月～12月	11月 ビザ申請、留学先大学への出願 12月 留学準備
2015年 1月～3月	1月 留学準備 2月 渡航、オリエンテーション 3月 授業開始
4月～7月	4月 前期中間試験、中間休み 6月 前期期末試験 7月 冬休み
8月～9月	9月 後期中間試験、中間休み
10月～12月	11月 後期期末試験 12月 再試験(ある人のみ)
2016年 1月～3月	1月 帰国、就活準備 3月 就職活動開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	小さい頃から英語に触れる機会が多く、英語が好きでした。高校の時からぼんやりと留学をしたいと考え始めるようになり、大学では英語を学ぶのではなく英語で何かを学びたいと思い、留学を決めました。また、留学生サポーターを通して、将来は日本に来る外国人の生活をサポートしたいと考え始め、そのために日本には知ることでできない「海外の学生から見た日本」を知りたいと思ったのも一つの理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	当たり前のことかもしれませんが、やはり留学前にできるだけ英語力を上げておくことが大切だと感じました。リスニング力や語彙力を鍛えておくと、一度で講義を理解でき、繰り返し聞く手間が省け、勉強の効率化に繋がります。また、リーディングの課題の際にも役立ちます。帰国後に就活を控えている方は、前もって自分の興味ある留学先の企業を調べたり、インターンの情報を収集しておく、留学先での就活準備がしやすいかと思えます。留学中は勉強や生活のことで頭がいっぱいになり、僕の場合は準備をしようと思っても、うまくいきませんでした。
この留学先を選んだ理由	留学をするなら、1年間行き尚且つ4年間で大学を卒業して、就職活動にも間に合いたいという希望がありました。そのように考えた時、オーストラリアが最も自分に合った留学先でした。また、オーストラリアは人種のサラダボウルと称されるように様々な国から、特にアジアからの留学生が多く、たくさんの文化に触れるには最適だと考えたからです、さらにアデレード大学はアジア学の授業に定評があり、是非ともその授業を受けてみたいと思ったのも理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	留学生が多く、留学生対象のオリエンテーションやイベントなどが充実しており、留学生だからといって特に疎外感を感じることはありませんでした。学生数は多いですがその分敷地も広く、また大学内に庭があったり、裏に川があったりと自然も多かったのも、キャンパス内はとても過ごしやすかったです。また、学期中の課題が多いため、試験期間でなくても、自習エリアには常に学生がいました。
寮の雰囲気	私が居た寮には修士や博士を勉強している学生が多く住んでいて、とても落ち着いた寮でした。様々な国の人が住んでいたのも、それぞれの国の話で盛り上がり、日本について話をするのがとても楽しかったです。共同キッチンに集まって一緒にご飯を作ったり、一人一品持ち寄りパーティーをすることもあります。天気の良い日は、外の庭でBBQをしたりもしました。また、毎週ではないですが、月曜日に映画ナイトが開催され、みんなで映画を見たりもします。寮のマネージャーとも仲が良く、時間があるときは各イベントに参加することもありました。みんないい人ばかりで、今でも連絡を取り合えるような友人に出会えることができました。
交友関係	留学生対象のオリエンテーションで知り合った人たちと一年間通して仲良く過ごしていました。僕の場合はシンガポールやマレーシア、香港といったアジア人の友達が多かったです。しばらくすると、その友達の友達とご飯を食べに行く機会などがあり、輪が広がっていきました。仲の良かった友達からは家に呼ばれることもあり、家族ぐるみで親交を深めることができました。寮では、ヨーロッパ、アフリカ、アジアなど様々な国の友達ことができました。一緒にご飯を作ったり、買い物に行ったりと楽しい時間を過ごしました。
困ったこと、大変だったこと	初めの頃は講義のスピードについていけなかったり、少人数のディスカッションでも発言ができなかったりと、本当に単位が取れるのかどうか不安になることが多々ありました。それでも、クラスメイトが分からない部分を教えてくれたり、先生も個人的に説明してくれたので、徐々に勉強に対する不安も消え、自信もついていきました。また、物価が高いこともあり基本的には自炊だったのですが、テスト期間など時間のない時期に、ご飯を作るのが大変でした。上記以外にも大変だったことはたくさんありましたが、多くの友達に支えられ、乗り越えることができました。
学習内容・勉強について	私は政治経済を専攻していました。専門用語が多く、リーディングの課題を一つ終わらせるのにかなりの時間がかかりました。講義では、分からない単語を一つ一つ調べている時間もないので、大学側が提供してくれる講義のレコーディングを授業後に繰り返し聞いていました。講義以外にチュートリアルという少人数クラスがあり、学生同士または先生とディスカッションをします。特に政治系のチュートリアルは議論に参加することが難しく感じました。発言する内容を事前に準備し、発表をして話し合いの輪に入れるように努力しました。長いエッセイを書いた経験もなかったので、大学提供の「ライティングセンター」というサービスを利用し、脚注の付け方から構成まで様々なアドバイスをいただきながら書きました。

課題・試験について	日本と比べ科目数、授業数が少ない分、課題の量は多かったです。課題の種類は、リーディング課題、クイズ、エッセイ、プレゼンなど様々でした。科目によっては、グループワークとしてプレゼンやエッセイを作成しなければならないものもありました。僕が大変と感じたのは期末エッセイでした。多くの参考資料に目を通し、それを自分の言葉でまとめなければならなかったので、大変でした。その分、教授から良い評価をいただいた時は嬉しかったです。 試験は科目によって様々です。試験がない科目もあります。(でもそういう科目は、その分課題が多いです。)私が受けたのは全て論述形式のもので、試験時間は最大で3時間でした。問題数は少なく2問、多くて5問程度でした。
大学外の活動について	友達の教会のイベントのボランティアをしました。その日は新入生歓迎パーティーで、ケータリングの仕事を手伝いました。また、前期は毎週日曜日にバレーボールクラブに通っていました。
留学を志す人へ	留学というのは一生に何度でもできる経験ではないと思います。その貴重な時間を有意義なものにするためにも、「なぜ留学したいと思ったのか」、「留学を通してどんな人間に成長したいのか」を、頭の片隅でもいいので日々意識して生活することが大切だと自分は感じました。そのような積み重ねが、留学後の成長や自信に大きく影響してくると思います。また、様々な国の人や文化と触れ合い、自分の中にたくさんの引き出しを作ってください。長いようであつという間の留學生活、辛いこともあります。それ以上に楽しいこともたくさんあると思います。悔いのないように全力で楽しんでください！

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	ジム	大学で無料朝食			ジム	日帰り旅行	サンデーマーケット
	自習	自由時間	自習	授業	自習	日帰り旅行	自習
午後	授業	授業	授業	自習	自習	日帰り旅行	自習
	買い物	授業	自習	買い物	授業	日帰り旅行	クラブ活動
夕刻	自習	授業	自由時間	授業	交流イベント	日帰り旅行	クラブ活動
夜	友達とご飯	自炊	友達とご飯	自炊	交流イベント	自炊	友達とご飯